



東京湾再生官民連携フォーラムの令和3年度事業計画を以下のように定めます。

東京湾再生官民連携フォーラム 令和3年度事業計画

令和3年度事業計画

令和3年度は、東京湾再生官民連携フォーラム設立後、9年目にあたります。3年をひと区切りとする中・長期計画を策定し、事業を実施してきましたが、令和3年度はその3年目になります。この3年計画では、「東京湾の日」を設け、再生活動を統合する象徴として集中的取り組みを目指すなどの目標を立ててきました。目標により近づけるよう令和3年度は以下の活動を行います。

I. 令和3年度活動内容

1. 情報（提供・仲介）の受発信・交流（広報）

1) 「東京湾の日」活動について

東京湾の多様性、大都市を支えている東京湾への理解促進活動を促します。「東京湾の日」10月1日に定めて、毎年10月～11月にかけて広報PR活動の充実を図ります。

2) ウェブやメール配信による継続的なPR活動

オンライン東京湾大感謝祭2021、「ぐるっと東京湾！自然と魅力のワクワク情報」との企画連携やコンテンツ情報に関するシナジーを図ります。フォーラムHPのコンテンツの充実を図ります。また、配信数50通を目標に「東京湾NEWS」をメール配信に取り組みます。

3) 個人会員500名、団体会員150組織の会員を目指す

会員は、(2020.11/30時点) 団体130、個人321人の構成です。年々増加し会員共通テーマ「東京湾の日」活動、東京湾SDGs活動等を推進します。急激な会員増加よりも質の高い、そして関連性の高い組織団体の参加を常に心がけていきます。単独の会員が寄与や貢献ができる手段(例えば、ブルーカーボンプレジットの個人購入制度など)を発見・紹介していきます。自然資源の活用により環境負荷の低減を図る東京湾ブルーカーボンによるCO²の削減活動を目指していきます。

4) クリーンアップ 東京湾 海ごみ、プラゴミ・ストップ2021活動

コロナ禍で新たに多数の人が集合するリアルな企画となるクリーンアップのイベント活動は一時的に棚上げして、その周辺活動に取り組みます。会員との連携、会員同士の連携を促し、各グループの輪を作ります。個々分散しての活動が、まとまると大きな成果を生み出すことを目指して、クリーンアップ活動の会員支援、連携促進を推進していきます。湾の周辺に住む私たちのライフスタイルを考え直し、東京湾の恵みの認知促進を図っていきます。リアル活動では、プラご



み対策の活動をおこなっているセブン-イレブン記念財団との連携を図ります。

5) フォーラム組織の継続強化について

今後の活動の中に、社会的信頼度・影響力を高めるためにフォーラム活動を広く発信し事業化、スポンサーの獲得、寄付のお願い等に引き続き取り組みます。

6) 東京湾再生のための行動計画（第三期）について

フォーラムは、第三期 東京湾再生のための行動計画に向けて、議論や行動の活発化・多様化を目指し、与えられた役割を今後もさらに果たしていきます。

7) 新型コロナウイルスへの対応

Zoom 活用などによるイベントや会議等の開催について柔軟な対応を図ります。そのための通信環境や必要ソフトウェアを整備します。

2. 交流・連携活動

1) クリーンアップ東京湾 海ごみ、プラゴミ・ストップ 2021

「クリーンアップ東京湾 海ごみ、プラゴミ・ストップ 2021」を進め、「東京湾の日」活動のひとつとして、市民が意識して参加できる身近な活動にしていきます。会員への告知活動から東京湾周辺生活者へと広がっていきます。

- ①10月1日を目指した会員等の諸活動、プラスチックごみ等、海洋汚染につながる活動の情報のとりまとめを行います。目標は約30団体の情報収集・その活動、活動結果のPRを実施していきます。
- ②東京湾の恵み、東京湾への生活負荷の認識・理解促進活動の実施を図ります。「東京湾の日」を身近に感じてもらう川柳、写真、動画などの公募をおこない、その表彰等の仕組みづくりを図ります。
- ③協力、後援、連携組織のパートナーの創出を目標に、河川をフィールドとした会員の清掃活動を通して連携・支援を実施します。
- ④東京湾の自然資源の理解促進を狙いに、情報収集を行い、HP等でPRを実施します。政策提案実績やPT活動実績をベースに東京湾の自然資源の特性と結びつけながら、展示パネルの制作PR活動を実施します。

2) 東京湾をフィールドとして活動している企業、団体・組織、個人の方々に対して、市民目線からみた表彰、称賛方法・顕彰制度を検討します。

3) 「東京湾の日」活動について

- ・東京湾大感謝祭 2021 との連携実施を検討します。
- ・「東京湾の日」の浸透を図るため、新たにポスターを制作し配布します。
- ・みんなの東京湾みんなで再生-東京湾の日・10月1日読み聞かせ動画（アニメーション）を



活用し、さまざまな機会を利用して、PRを実施します。HPへの掲出、連携による感謝祭サイトへの掲出、東京湾の施設への提供などを計画・実施します。

4) 東京湾メンバーズカードの配布

東京湾メンバーズカードの配布は、海の日の小さな活動に始まり、東京湾環境一斉調査への参加、Facebook「ぐるっと東京湾！自然と魅力のワクワク情報」(東京湾スタンプラリー)などへの参加促進、フォーラム会員へと発展に結び付けるよう活用していきます。東京湾への意識を高め、具体的な活動に結び付けるきっかけ作りを図ります。

5) CSR-NPOの交流会の実施

令和2年度も引き続き交流会を計画します。NPOと企業間の交流実績を高めるとともに、業界間の垣根を越えた交流を行い、参加組織団体への情報フォローや具体的な相談など受け入れ活動を推進します。CSRテーマは幅広く、海ごみ、プラゴミ・ストップ対策を中心に、地球環境、気候変動、自然資源の保全や活用、持続可能な開発目標(SDGs)なども視野に入れて、今後活発な議論の呼び水としていきます。引き続き、一般財団法人セブン-イレブン記念財団、経団連自然協議会さまの支援を受け交流活動を実施します。

・令和3年度は11月実施予定(案)

■平令和3年度 CSR-NPO 未来交流会

- (1) 開催日時：令和3年11月18日(木) 13:00~16:30
- (2) 開催場所：ZOOM利用による交流会場(予定)
- (3) 参加目標：フォーラム会員 + 非会員：企業、NPO等45団体
- (4) 交流会プログラム企画

「東京湾の恵み 江戸前の交流」

「クリーンアップ 東京湾 海ごみ、プラゴミ・ストップ2021」

相互交流情報交換：今までの経験と反省を踏まえ、交流会開催の工夫を図ります。

ZOOM利用によるマッチング方法の検討を行います(グループセッションの活用検討)

3. 他団体との連携

引き続き国連生物多様性10年日本委員会、経団連自然保護協議会などへの参加協力をはじめ様々な団体との連携を図ります。あらたに「環境省ローカルSDGs(地域循環共生圏)実践地域等登録」を行い、東京湾への貢献を図ります。

各組織団体と連携したフォーラム活動を推進し、東京湾の水環境の改善、生き物保全といった地球環境全体の取り組みを検討します。

(環境省)「プラスチック・スマート」キャンペーンの参加協力を継続実施します。フォーラム会員への海洋プラスチック問題の解決に向けた協力連携活動を行っていきます。

こうした連携により「東京湾再生推進会議」や「東京湾の再生のための行動計画(第Ⅱ期)」を応援して行きます。



http://chiikijunkan.env.go.jp/tsunagaru/chiiki_touroku/

※環境省ローカルSDGs本制度は、地域循環共生圏を実践する（または、実践する予定の）地域や団体等を対象としています。なお、本制度に登録されると、プラットフォーム参加規約に基づき本プラットフォームの会員となります。地域循環共生圏づくりプラットフォームでは、これから地域循環共生圏づくりに取り組もうとする方々や推進中の方々に、様々な情報の発信や制度づくり、地域や企業とのつながりの場を提供し、各地での地域循環共生圏の形成を応援しています。

4. 後援・協賛等の連携

会員や関連団体の実施するイベントや講演会に対し、令和3年度も同様にフォーラムの「後援・協賛」を実施します。「西なぎさ発:東京里海エイド」D E X T E - K主催のプロジェクトの後援等を実施予定としています。さらに、クリーンアップ 東京湾 海ごみ、プラゴミ・ストップ活動に結び付く活動への後援・協賛を図ります。

5. 調査研究（PT 活動へのサポート）

特徴あるPT活動を各PTが主体的に推進できるようフォーラム事務局では、縁の下のサポートを実施します。

PT活動を支援し、主に現場や実証作業、ワーキングなどPTのみでは手が足りない具体的活動への支援を図ります。例えば、

- ①コロナ禍の中で大幅な変更を行っている東京湾大感謝祭のサポートを行います。事務局では「東京湾の日」の認知普及を目指しながら支援を実施していきます。
- ②「指標活用PT」は、海ごみなどの項目をはじめ東京湾の指標となるデータの収集、調査を行っています。今年度も継続してフォーラムHP利用しての関連他団体へのアンケート収集の実施予定をサポートします。
- ③「東京湾窓PT」が行うアウトリーチ活動の支援を行います。令和2年度、スタンプラリーの代替として公開したFacebook「ぐるっと東京湾！自然と魅力のワクワク情報」を引き続き支援し、環境学習機能のある20施設の参加促進を図ります。また、都民、市民に対して施設からの「学習機会の提供」などをサポートしていきます。例えば、「東京湾をテーマにした環境学習」として、船上学習、観察会などの体験するメニュー等の実施に向けた検討を図ります。

Facebook「ぐるっと東京湾！自然と魅力のワクワク情報」

<https://www.facebook.com/groups/tokyowaninfo/>

- ④通信、オンラインやウェブの活用となる共通課題・個人情報の保護、著作権等の利用やPT作成のコンテンツの権利を守るなど、運用面等へのアドバイスサポートを行います。

6. 相談窓口（コンサルティング）

- ①連携・調整の活動で具体化された相談受付を実施します。交流会で新しい組織団体などからの相談の窓口となります。



- ② PT活動における多様な主体との相談、調整等を図ります。自然環境調査における届け出文書などの共通化や参照ひな形の提示など、サポートしていきます。

7. 啓発・人材育成

各PTの啓発・人事育成サポートの実施に取り組みます。特に、PTが独自に必要な資金を獲得できるように、助成金申請のノウハウや知りえた助成申請情報等の会員、PTメンバーの周知を行います。

8. 統一テーマでの活動

東京湾を貴重な環境資源としてとらえ、流域住民の生活 環境、文化、産業の豊かさと多様性を支えるリソースを大切に、これを見守るソーシャルなネットワーク形成に力を注ぎます。生活者のライフスタイルの変革が迫られる中、「新しい東京湾」を模索していきます。地球温暖化対策、気候変動などによる影響が今後大きくなるなか、人が織りなす重要性に着目し、東京湾周辺生活者に対して、東京湾PR活動を行っていきます。

① 東京湾大感謝祭 2021 の実施

コロナ禍により今年度開催に向け、準備会合を実施しています。オンラインでの継続的なイベントの開催とリアルな会場設定の開催PRは、予算とのバランスを検討しながら継続的に検討していきます。令和3年度では、オンラインでの目標値ユーザー数28,000名/25日間、ページビュー数[※]：75,000PV/25日間を目指して、関係者と協力連携していきます。

※（PV；ウェブサイト内の特定のページが開かれた回数）

② 10月1日「東京湾の日」PR活動

東京湾の理解促進のためとなる東京湾再生アンバサダーの役割を検討し、「東京湾の日」と連動できるガイド役、身近で親しみのある方への協力を検討します。今年度は該当者の検討を始めます。

また、目標配布500枚を想定し、機会あるごとに「東京湾メンバーズカード」の配布を実施します。カードの所持により、東京湾を思う日のきっかけとしていきます。

9. 政策提案

上記1～8.の活動により得られた東京湾再生への成果、課題等を取りまとめ、東京湾再生推進会議へ、具体的な取組や改善策等の提案を目指します。令和3年度は、官と民や立場の異なった組織のアプローチの仕方を研究し、PT活動の成果の具体化と合わせて、第三者的なサポートを図ることにより、新しい形の政策提案の役割を果たします。さらに、コロナ対応をプラス思考に変え、今までの政策提案を踏まえ、デジタル的な側面からのアプローチも検討していきます。

10. 事業化、スポンサーの獲得について

コロナ禍において事業の推進に当たり、フォーラムの活動を支援していただく組織等へのスポ



ンサードの獲得を目指します。企業からの賛同を得やすい工夫を行い、事業推進を図ります。また東京湾再生のための寄附等の協力呼びかけをさらに実施していきます。

II. 令和3年度スケジュール

月	内 容
2021 年	オンライン感謝祭 2021 出展募集
	東京湾の日動画公開
4 月	海洋汚染プラごみ活動の情報収集
5 月	R3 第 1 回企画運営委員会開催
	連携のための情報収集
	シンポジウム等協力連携の参加及びプラごみ活動スケジュール等の確認作業
6 月	フォーラム展示パネルの作成
	政策提案の検討(江戸前、生きもの PT 等)
	東京湾の窓 PT アウトリーチ活動支援
7 月	東京湾の日チラシ/ポスター作成
	東京湾の日のぼり作成
	R3第 2 回企画運営委員会開催
	東京湾 phot/川柳コンテスト用 チラシ.ポスター作成
8 月	CSR-NPO 未来交流会 チラシ作成
	東京湾 phot/川柳コンテスト用 チラシ.ポスター配布
	東京湾の日チラシ/ポスター配布
	パートナー協定の検討
9 月	R2 第 3 回企画運営委員会開催
	CSR-NPO 未来交流会 チラシ配布
	パートナー協定の検討
10 月	フォーラム総会開催
	東京湾大感謝祭 2021 開催
	東京湾 phot/川柳コンテスト表彰等
	会員募集活動
11 月	NPO-CSR 未来交流会開催
	パネル展示
	東京湾大感謝祭開催
	会員募集活動
12 月	来期予算計画の検討
	会員募集活動



2022年	みんなの東京湾みんなで再生 チラシ作成
1月	令和2年度事業報告書作成
2月	スポンサー募集活動
	PT 長会議
3月	R3 第4回企画運営委員会開催



Ⅲ. 令和3年度予算(案)

令和3年度フォーラム活動予算内訳

収入の部

作成: 令和3年3月19日

科目	予算額(円)	備考
寄付金収入	100,000	見込み
助成金収入	3,999,985	セブーン-イレブン記念財団
雑収入	0	
単年度収入	4,099,985	
前年度繰越金	15,000	
収入合計	4,114,985	

支出の部

事務局経費(1)	2,965,566	
事務局人件費	2,400,000	事務局員稼働
事務局運営費	565,566	通信費・Zoom一式、非接触体温計等(コロナ対策など)、メール配信サーバー
事業費(2)	1,034,419	広報PR費、交流会、賃借料
単年度支出計(1)+(2)	3,999,985	
収支差額	115,000	



 <p>東京湾再生官民連携フォーラム 東京湾再生官民連携フォーラム</p>	 <p>一般財団法人 セブン-イレブン記念財団</p>
 <p>この事業は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」が推奨する事業として認定を受けています</p>	<p>東京湾の魅力をみなさまに</p> <p>東京湾再生アンバサダー</p> <p>榎 太一 アナウンサー</p> <p>ガリガリ君 赤城乳業(株)</p>